

# 「いこいの森」 誕生20年祝う

見附・新潟小

見附市の新潟小学校にある学校の森「いこいの森」が誕生20年目を迎え、同校で祝う会が開かれた。児童は整備に携わってきた地元住民に感謝を伝え、自然豊かな森で遊んだ写真展。

いこいの森は1997年に校庭の一角に造成。これまでにクヌギや栗、ヤマボ



ウシなどの樹木が100本近く植えられ、自然の観察学習にも活用されている。

11日の祝う会には全校児童77人が参加。整備を手伝う住民7人のほか、ツリーハウスの製作に協力した三条市の作家・イラストレーター遠藤ケイさん(72)が招かれた。

児童は感謝の気持ちを込め、歌や演奏を発表。その後は森に落ちている枝葉や実を拾うゲームを楽しんだ。完成した森の看板も披露された。

6年の柿坪寛人君(12)は「森で鬼ごっこをするのが好き。これからも森の自然を大切に守っていききたい」と話した。住民を代表しあいさつした佐藤久敬さん(72)は「森でいっぱい遊んで、楽しい思い出をつくらせてほしい」と呼び掛けた。